学校番号	４０５

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	（学）造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「高校生の美術３」（日本文教出版） 副読本「美術 表現と技法」（日本文教出版）・油彩、アクリル絵の具セット等の教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現の喜びを一層深く味わい、生涯にわたって美術を愛好する心情と美術を生活に生かす態度を育む。

２　学習の到達目標

・　知識及び技能：
　主題に合った表現方法を工夫し、技術を生かして創造的な造形を追求すること。

・　思考力、判断力、表現力など：
　目的や条件を基にした主題の把握、デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、
　表現の構想を練ること。

・　学びに向かう力、人間性など：
　他者の理解、協調性を持った行動で互いに高め合い、共に社会に対して表現する力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・身につけた技能を高め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・見る人、使う人の立場になって目的を見出し、ものづくり、デザインする力を発展させている。 ・目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。 ・造形表現を深め、その良さを創造的に表現している。	・創造活動に喜びを味わい、多様な表現方法や文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の想像活動に取り組もうとする。 ・他者への理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	題材の評価基準（一部）	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
1学期	ウクレレ制作　造形編	【鑑賞】 ガイダンス ・　年間スケジュール 【ウクレレ制作】 ・立体造形（木工） 木工の技術を駆使し、パーツを組み立てウクレレの立体造形を制作する。 合評	c：造形制作の多様な表現に関心を持ち、集大成としての目標を定め、学習意欲を高めている。 （取り組む態度） a：木材・素材の知識を得、道具を機能的に使用し作品を制作する。 (知識･技術) b：目的や機能を把握し、造形の美しさを表現できている。(表現や構想) c：他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にする。（取り組む態度）	・作品点 （技術的観点） ・ワークシート	・作品点 （創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
2学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	c：作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす。（鑑賞） c：高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 （取り組む態度）			鑑賞ワークシート
	ウクレレ制作　着色デザイン編	【ウクレレ制作】 ・着色デザイン ・ニス塗装仕上げ ・金具取り付け 合評	a：絵の具やニスなどの素材の特性を知り、丁寧な作業ができている。 (知識･技術) b. 目的や機能、美しさなどから主題を生成し、デザイン表現の構想を練っている。(表現や構想) c：集中力を持って対象を観察し、的確に表現しようとする意欲がある。 （取り組む態度）	・作品点 （技術的観点） ・ワークシート	・作品点 （創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

	展覧会運営・鑑賞	・アートスタジアム運営・展示 鑑賞レポート提出	c:展覧会の運営を皆と協力しながら実行している。(取り組む態度) c: 他者の技法や心情を読み取り、多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。(鑑賞)			・展示運営の様子 ・ワークシート
3学期	卒業制作	・自由課題研究 「卒業制作」 各自テーマを決めて描画表現または造形表現する。 合評	a:高校美術の集大成として、主体的に主題を生成して構想を練り表現を工夫しようとしている。(知識･技術) b:３年間で学んだ中で自己の得意分野を生かし、創造的に構想を練っている。(表現や構想) b:主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現している。(表現や構想) c:お互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさを認め合っている。(鑑賞)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度